

69. 農作業衣に関する研究

(その二 夏期農作業の地色について)

岐阜大学芸 大道寺純子

1. 熱吸収率の最少な白布と最大な黒布を用いて衣服と皮膚間の空気層の厚さの種々な場合の温度を測定して皮膚に及ぼす黒、白布の熱伝達力をしらべ、夏期農作業衣の地色と着装方法を考究しようとして本研究を行った。

2. 径10cm高さ30cmの銅製円筒とこれを周囲0.5cm、1cm、2cmの間隔でとりまく竹製の筒を用い、7月下旬の炎天下、無風に近い日をえらび、木綿白布及び黒布にて銅製円筒を密着被覆した場合と0.5cm、1cm、2cmの間隔をおいて被覆した場合の円筒内の温度を測定した。

3. (1) 円筒に布を密着させて被覆した場合及び間隔0.5cmの場合は白布被覆の円筒内の温度は黒布被覆の円筒内のそれよりも小で白布、黒布間の温差は密着時より0.5cmの間隔をおいた方が小である。かかる温差は何れも高温下ほど大きくなる。(2) 円筒と布の間隔1cmの場合は之に反し円筒内の温度は白布で被覆した方が黒布で被覆した方より大となる。かかる両者の温差は球温度の上昇とともに小さくなる。2cm間隔の場合も之に準ずるが両者間の温差は更に大となり、かかる温差は球温度の上昇とともにやや大きくなる。(3) 夏期炎天下における農作業衣の地色は衣服が肌に密着するような型態では白地が涼しいが、ゆるやかな型態では黒地の方が涼しくて良好である。